

みんなで考える 「支え合いと思いやり」

新型コロナウイルス感染症で 考える人権意識



新たな課題も…

新型コロナウイルスによる感染者数もいくらか落ち着いてきましたが、中には感染者の感染経路が判明しない事象が発生するなど、いつどこでだれが感染してもおかしくない状況となり、決して他人事ではなくなりました。

予防対策には従来からの「3密の回避」や「マスクの着用」、「手洗いの徹底」などに加え、新しい生活様式であるソーシャルディスタンス(概ね1m〜2m程度の距離の確保)や食事のテイクアウトなども浸透し、対策も徹底されてきました。

一方でこの感染症に関連する「誹謗中傷」や「差別」という新たな課題も出ています。

これまでも、感染者やその家族、最前線で活躍する看護師への誹謗中傷、県外ナンバーの車への心ない行動や発言が報道されたところがあります。

例えば、あなたが次のような立場になったときのことを考えてみましょう。

あなたは どのように思われますか？

● 公表された情報を基に

年齢や住所、学校、勤務先などを探す。

● 学校で

熱で休んでいる児童のことを「新型コロナウイルスに感染した」と友達どうしで噂をする。

● 地域で

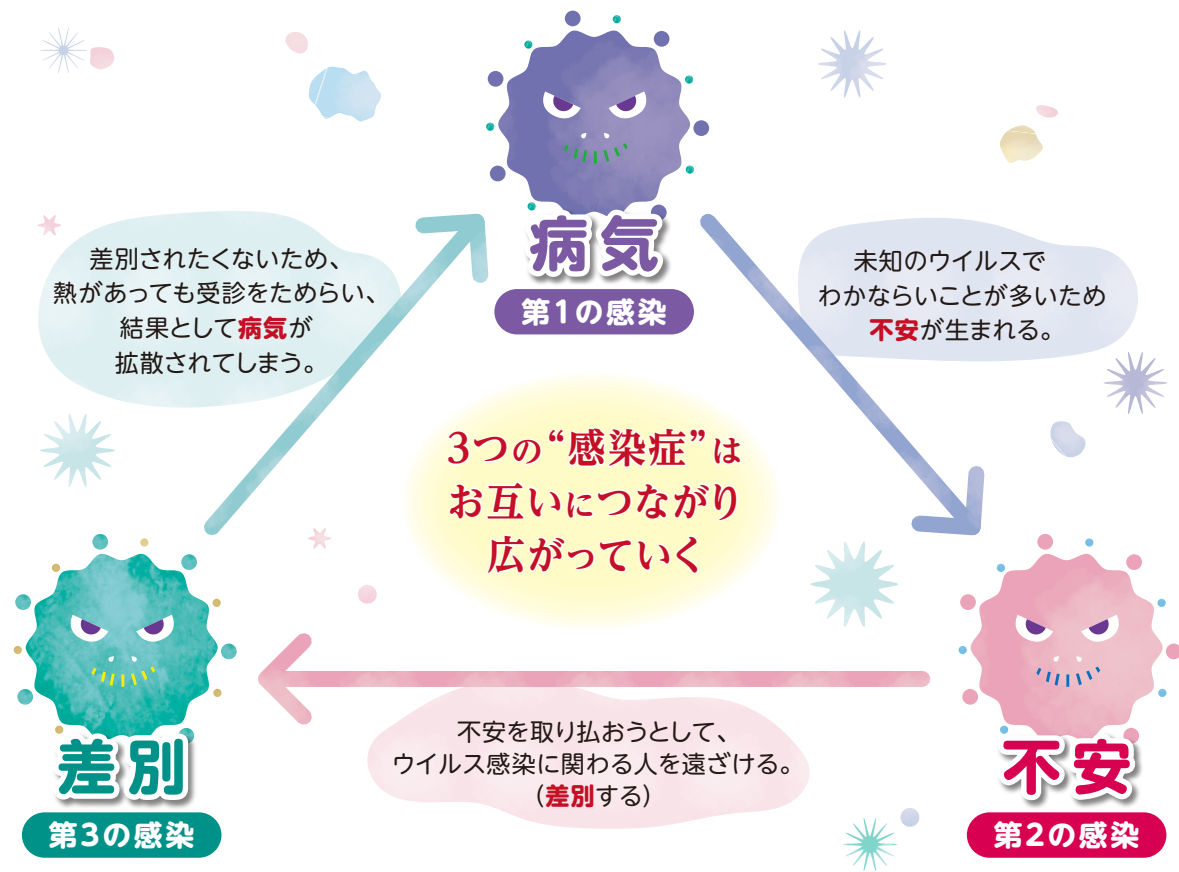
医療従事者やその家族を避ける。

● SNS(フェイスブック等)で

感染に関する偽の情報を書き込むなど、情報を拡散する。

このように、感染者を特定しようとする詮索、感染者や関係者は悪者だと他者を排除しようとする発言や行為、顔の見えないSNS等での憶測による書き込みなど、行き過ぎた行為により知らないうちに人を傷つけている場合があります。

新型コロナウイルスが起こす3つの感染症



参考:日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!〜負のスパイラル断ち切るために〜」

図のように「病気」が不安を呼び、「不安」が差別を生み、「差別」が更なる感染の拡大につながっていくという関係性です。

あなたは、普段の生活の中で、ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いてしまったり、何でもウイルスに結びつけてしまっているということはありませんか？

例えば…

● あの人が咳をしている…「コロナに感染しているのでは？」

● 多くの感染症が発生している県から来た人には近づきたくない

● あの地域は「コロナが発生したから、あそこでの買い物はやめよう

● 熱があるけど差別されるのが怖いから黙ってしよう

このように考える一人ひとりの意識が差別的な行動につながり周囲にも広がって(感染して)いきま

す。

この広がりを抑えることは、あなたのその意識・行動にかかっているSDGs。



第1の感染をSTOP!!

これまでと同様、マスク、手洗い、人混みを避けるなど、自分のためだけでなく、周りの人のことを考えることが大切です。

第2の感染をSTOP!!

不安や恐れは私たちから、「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を奪います。不安や恐れは身を守るために必要ですが、周りに振り回されず冷静に行動しましょう。

第3の感染をSTOP!!

不安をあおめることは病気に對する差別を強めます。差別的な言動に同調しないようにしましょう。

感染症という病気そのものを防ぐことはもちろん必要ですが、実はこうした差別意識の広がり(感染)を防いでいくことも大切です。正しい情報や知識、またお互いを思いやる気持ちで、それぞれの立場でできることを行いましょう。

そして、あなたの意識・行動でこの3つのつながりを断ち切りましょう。